

平成30年度 NO. 2

コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

H30.12.07

(事務局：国見町教育委員会学校教育課 ☎585-2892)

国見町教育フォーラム2018開催!

11月17日(土) 観月台文化センターを会場に開催されました。前半は文部科学省コミュニティ・マイスターの大山賢一先生による講話、Ⅱ部は参加者がグループに分かれて協議を行い、今後の国見町の教育や保育の充実につながるものとなりました。

以下、概要をお知らせします。



大山賢一先生講話

Ⅰ部 大山賢一先生講話 「地域とともにある学校づくり」より

子どもたちの将来や明るく元気な地域を創るため、保護者や地域住民が学校と共通の目的を持ち、協力し合う関係を築く。

地域住民や保護者は、学校・家庭・地域で育みたい子ども像を共通の目標として共有しましょう。

教育活動を教職員や行政だけに任せるのではなく、学校を「学校・家庭・地域の協働の場」として、保護者や地域住民が「自分たちの学校」という当事者意識をもって、より良いものに変えていくようにしたい。

「自分たちの学校」という当事者意識が、「自分たちの地域」をよくするという意識につながり、人々の支え合いと活気のある地域社会が実現される。

オール国見の教育の実現には、町民のみなさんが教育や保育に関心を持ち、めざす子ども像を共有し、それぞれの立場でそれぞれにやれることをしっかり行うことが大切なのです。



グループワーク 熱心に話し合う参加者

Ⅱ部 グループワーク

グループ毎に共通の課題を決め、その解決策について話し合いました。

具体的な解決策や実践事項は、今後各学校、コミュニティ・スクール委員会で協議し、オール国見の体制でできることから実施していきたいと思います。

各グループのテーマ

- ① 地域と関わる国見っ子を育てるための連携
- ② 学校と地域が連携してどのように教育活動を展開していくか
- ③ 地域・学校、双方向の連携の充実
- ④ 家族、地域との対話
- ⑤ 家読で心を豊かに育む
- ⑥ 町と地域、保護者、学校の連携の強化
- ⑦ 国見町全体にかかわる人たちにコミュニティ・スクールをどう伝えていくか
- ⑧ 家庭の教育力を高めるにはどのようにすればよいのか
- ⑨ コミュニケーションを活発にするには？
- ⑩ あいさつ
- ⑪ 地域・家庭と学校が気軽に無理なく連携するには？
- ⑫ 挨拶からつながる町づくり
- ⑬ 子どもたちと地域の関わり
- ⑭ 子どもたちの心身の健全な成長のための食育の充実

今、学校ではどのような教育が行われているのでしょうか。みなさんはどの程度ご存じでしょうか。

お子さんが学校に在籍していなければ、十分には伝わっていないと思います。

学校では、行事や学校の様子をホームページやお便りなどでもお知らせをしています。ぜひ、子どもたちの教育や保育に関心を持っていただければと思います。

国見町教育委員会は、平成26年度より町内の学校をコミュニティ・スクールに指定し、保護者や地域の代表者に委員になっていただき、学校と保護者、地域が一体となった教育活動の推進に努めています。また、地域学校協働本部事業により、学校ボランティア支援や放課後等の学習支援、学校外の活動場所の提供、学校や子どもと地域の連携・交流の場づくりに努めています。

学校づくりが地域づくりにつながる活動になるように、一緒に進めましょう。